

# 日本顎関節学会雑誌投稿規程

## 1. 論文の基準と採否

- 1) 投稿者は本学会会員に限定するが、非会員でも特に編集査読委員会で認めたものはこれを許可することがある。
- 2) 投稿論文の内容は顎関節に関するもので他の雑誌に未発表のものに限る。
- 3) 投稿論文の採否、掲載等の順序は編集査読委員がこれを決定する。
- 4) 編集査読委員は投稿論文の査読を行う。必要に応じて査読委員を委嘱する。
- 5) 投稿論文の編集方針に従って、原稿、図、表などの加筆、削除、および一部の書き直しを求めることがある。

## 2. 論文形式

- 1) 原稿には和文表題、和文抄録(600 字以内)、英文表題、英文抄録(300 語以内)を添付すること。
- 2) 原著論文、臨床論文:A4 判横書き用紙 26 枚以内。(表題、抄録、文献、図、表共)
- 3) 症例報告、研究速報:A4 判横書き用紙 10 枚以内(図、表除く)で刷り上がり 6 頁以内。
- 4) 短報(1 例報告など):A4 判横書き用紙 5 枚以内。(表題、抄録、文献、図、表共)
- 5) 総説:A4 判横書き用紙 26 枚以内。(表題、抄録、文献、図、表共)
- 6) 講演抄録:一般演題は 600 字以内、特別講演は刷り上がり 3 頁(3,600 字)以内、シンポジウムは刷り上がり 2 頁(2,400 字)以内、教育研修は刷り上がり 1 頁(1,200 字)以内。
- 7) 二次掲載:(1) 著者は、双方の雑誌の編集者から許可を得ており、二次掲載にかかわる編集者が、最初に掲載されたもののコピー、別刷、もしくは原稿のいずれかを必ず入手していること。(2) 一次掲載版発行後、最低でも 1 週間の出版間隔を置くこと(双方の編集者による別途取り決めがある場合を除く)。(3) 二次掲載となる論文は異なる読者層を対象とするものとし、一次掲載版の翻訳にとどまるものとしないうこと。(4) 二次掲載版は、一次掲載版のデータおよび解釈を忠実に反映していること。(5) 二次掲載版のタイトルページに掲載される脚注には、その論文の全体もしくは一部分が既に掲載されている旨を、読者、同分野の研究者、および著作権管理機関(多くは一次出版社)に情報として提供し、さらに初出文献も示しておくこと。例:「This Article is based on a study first reported in the [雑誌タイトル(完全な典拠情報を添えたもの)...] (訳:この論文記事は、[...]に最初に報告された研究に基づくものです)」。※以上の条件は、国際医学雑誌編集者委員会(International Committee of Medical Journal Editors. Uniform requirements for manuscripts submitted to biomedical journals. JAMA 1993; 269: 2282-6.)の定める規定に準拠しており、上記抜粋以外の事項も JAMA の規定:URL (<http://www.toukougitei.net/i4aURM4.html>)を準用することとする。
- 8) その他:A4 判横書き 7 枚(刷り上がり 2 頁)程度。基本的には編集査読委員会からの依頼原稿とする。「その他」の具体的な名称は、内容に合わせてその都度編集査読委員会にて決定する。掲載料は無料。

### 3. 執筆要項

- 1) 原稿は A4 判用紙を用い 1 枚につき 25 字×25 行の 625 字横書きとして、上下左右 3 センチ以上の余白を必要とし、明朝体 12 ポイント程度とする。頁番号は表紙から引用文献まで記入し、図表は頁番号を記入しない。図表には説明文を必要とする。
- 2) 1 頁目を表紙として、次の項目を記載する。

和文表題、著者名、英文表題、英文著者名、略題(ランニングタイトル)、和文所属、所属機関の主任または論文の指導者名、英文の所属、所属機関名の主任者または論文の指導者名、別刷部数(朱書)。

なお、所属名は必ず公式名称を用い、校正、別刷送付先、投稿料請求先を明記すること。ただし短報では著者数を 5 名までとし、和文抄録と英文抄録は不要とする。
- 3) 図、表が増加した場合は、各 1 枚について A4 判用紙 1 枚を減じて整理すること。
- 4) 所定枚数を超過した論文は原則として採用しない。
- 5) 原稿は漢字まじり平仮名、口語体、新仮名遣いとして、数字はすべて算用数字を使用する。
- 6) 数量の単位は国際単位系(SI)とし、下記の例によること。

m, mm,  $\mu$  m, nm, l, ml, N, kg, g, mg,  $\mu$  g, ° C, %, など。ピリオドは不要。
- 7) 1 論文について、3~4 個以内の索引用語(キーワード:日本語および英語)を和文、英文抄録の末尾に添付すること。
- 8) 写真は手札大とし、図、表などは直ちに印刷できるようにして送付のこと、図、表のトレースあるいはカラー写真などを希望する場合は、その旨を表紙および該当部位に朱書すること。実費は、著者負担とする。
- 9) 図、表の表題と説明は英文が望ましいが、和文でも可。(同一論文中はどちらかに統一)
- 10) 図(写真)、表などはすべて 1 枚に 1 点ずつとして本文末尾にまとめ、挿入箇所を本文中の欄外に朱書すること。
- 11) 身体各部を表す用語は、解剖学用語(日本解剖学学会、昭和 62 年改訂)を用いること。
- 12) 学術用語については、医学用語または医学用語辞典(日本医学会編、1984 年度版)を用いること。
- 13) 歯科用語は、日本歯科医学会学術用語集(日本歯科医学会編、2008 年版)を用いること。
- 14) 顎関節に関する用語については、本学会編集「日本顎関節学会学術用語集(第 1 版・2017 年)」を用いること。
- 15) 病態の分類は、本学会で採用している「顎関節症の病態分類(2013 年)」に準ずること。
- 16) ヒトを対象とする内容についてはヘルシンキ宣言および厚生労働省の科学研究に関する指針を遵守し、「所属設備の倫理委員会の承認を得ている」ことの明記を必要とする。また動物を対象とする内容については、「所属設備の動物実験委員会の承認を得ている」ことの明記を必要とする。
- 17) 原稿は完全なものとして送付すること。校正時における加筆、訂正は認めない。
- 18) 著者校正は原則として初校のみとする。

### 4. 文献の記載

- 1) 引用文献は論文に直接関係あるものに留めること。
- 2) 本文中に右肩番号を付け、本文末の別紙に引用順に集め、次の順に記載すること。

雑誌:引用番号)著者名. 表題. 誌名 発行西暦年号;巻:始頁-終頁.  
単行本:引用番号)著者名. 表題. 編集者名. 書名. 版数. 発行所所在地:発行所;発行西暦年号. 始頁-終頁.

- 3) 引用文献が共著で、6 名の場合は連記し、7 名以上の場合は最初の 6 名、他とすること。編集者、監修者もこれに準ずる。外国文献もこれに準ずる。
- 4) やむをえず学会発表の抄録を参考にした場合は、表題の後に(抄)を付記すること。
- 5) 雑誌名の略記については、和文文献は医学中央雑誌所蔵目録により、外国文献については Index Medicus 所載のものに従う。

記載例は、Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals: Writing and Editing for Biomedical Publication に準ずること。National library of medicine に準ずること。ここでは National Library of Medicine に準じている。

- 1) 高橋新次郎. 歯牙の発育が顎の形態に及ぼす影響に就ての実験的研究. 日矯歯誌 1937;6:119—23.
- 2) 渡邊 巖, 井草憲太郎, 齋藤重雄, 高橋 務, 平尾正治, 安東丈夫, 他. 学生の勤労奉仕重労働生活に於けるザンブリニー渡邊唾液反応に就いて. 口病誌 1942;16:301—9.
- 3) 高橋健治. 酸性プロテアーゼの活性部位. 村地 孝, 浅田敏雄, 藤井節郎, 編. 蛋白分解酵素と生体制御. 2 版. 東京:東京大学出版会;1976. 287—311 頁.
- 4) Vega KJ, Pina I, Krevsky B. Heart transplantation is associated with an increased risk for pancreatobiliary disease. Ann Intern Med 1996;124:980—3.
- 5) Parkin DM, Clayton D, Black RJ, Masuyer E, Friedl HP, Ivanov E, et al. Childhood leukaemia in Europe after Chernobyl: 5 year follow-up. Br J Cancer 1996;73:1006—12.
- 6) Phillips SJ, Whisnant JP. Hypertension and stroke. In: Laragh JH, Brenner BM, editors. Hypertension; pathophysiology, diagnosis, and management. 2nd ed. New York: Raven Press; 1995. p.465—78.

## 5. 掲載費用および別刷

- 1) 写真, 図, 表などは実費著者負担とする。
- 2) 特に早く掲載を希望する論文(特別掲載)の掲載料は別途料金による。その場合, 原稿表紙に付記すること。
- 3) 別刷は 50 部以上とし, 実費著者負担とする。

## 6. 著作権

- 1) 本誌に掲載された論文の著作権(著作財産権, copyright)は本学会に帰属する。

## 7. 原稿の提出

- 1) 原稿と電子記録媒体による投稿の場合
  - (1) 原稿はオリジナルの他にコピー 2 部を添えて下記へ送付すること。ただし, 写真は正副, 同質のものとする。
  - (2) 投稿原稿に加え, 用いたコンピューターの機種名およびソフト名を明記した CD その他の電子記録媒体を添付すること。また, 投稿票および承諾書に必要事項を記載したものを投稿原稿に添付すること。その際, 承諾書には著者全員の署名・捺印を要する。
  - (3) 提出された投稿原稿, 表, 図ならびに電子記録媒体は原則として返却しない。

〒170-0003 東京都豊島区駒込 1-43-9 駒込 TS ビル 5F

一般財団法人口腔保健協会内

一般社団法人日本顎関節学会編集査読委員会

(4) 入力に際して

- ①文字原稿は、「表紙, 和文抄録・キーワード, 英文抄録・Key words, 本文, 文献, 付図説明」の順に保存すること。
- ②入力にあたり, 数字, 欧文はすべて半角で入力すること。また, 欧文における単語間は半角にすること。
- ③改行マークは段落の最後にのみ入力すること。

(5) 投稿者の氏名, 所属, 論文タイトル, 使用した機種名およびソフト名を明記したラベルを電子記録媒体に貼付すること。

(6) 郵送時の不測の事故で, 内容を消失する事態がないとは言い切れないので, 投稿前に必ずバックアップを行うこと。

2) 電子投稿(e-mail)による投稿の場合

(1) 原稿(表紙, 和文抄録・キーワード, 英文抄録・Key words, 本文, 文献, 付図説明)は, Microsoft<sup>®</sup> Office Word(以下 Word)形式とする。

(2) 図は jpg または pdf とする。

(3) 表は Microsoft<sup>®</sup> Office Excel, jpg, pdf または Word 形式とする。

(4) 投稿票およびチェックリストは学会ホームページの「日本顎関節学会雑誌」の項目よりダウンロードし, 必要事項を記入のうえ投稿論文とともに送信する。承諾書は著者校正返却時に著者全員の署名・押印をしたうえで同封すること。

(5) ファイル名は, 和文で「著者名」\_「大学名(学部以下不要)」\_「原稿・図・表・投稿票」\_そしてファイル種類を表す「.拡張子」とする。

(例) 顎関太郎 \_〇〇大学 \_原稿.doc; 顎関太郎 \_〇〇大学 \_図.jpg; 顎関太郎 \_〇〇大学 \_表.xls; 顎関太郎 \_〇〇大学 \_投稿票.pdf

(6) e-mail の件名(Subject)は, 日本顎関節学会雑誌投稿論文とする。

(7) 投稿原稿は, (一財)口腔保健協会編集部(の e-mail アドレス): hensyu3@kokuhoken.or.jp に送付する。念のため CC(Carbon Copy)に, hensyu5@kokuhoken.or.jp を加えること。

※個人情報が含まれる内容のメールであるため, 宛先の入力間違い等には特に注意すること。

(8) ファイルサイズが大きすぎる等の問題のため e-mail 投稿が困難な場合は, FTP サーバ(ファイル転送サービス)等を用いた投稿も可能とする。この際であっても, まずは e-mail にて投稿を行い, その際にファイルをダウンロードする URL 等を指示すること。